

公共下水道事業の今後の取り組みについて問
う

質問者 下 澤 章 夫

瑞穂町の下水道事業は、令和２年度から公
営企業会計に移行して健全財政を目指してい
る。しかし、一般会計の繰出金が令和４年度
予算では２億円以上が計上されている。また
下水道事業会計では令和４年度から３か年を
かけ、長岡１号幹線整備事業が予定され、そ
の費用は約４６億円を要す。さらに、駒形汚
水中継ポンプ場の老朽化や不明水の浸入対策
など課題がある。これにどう対処し、下水道
事業運営に取り組むのか、町長の所見を伺う。